

# 理事長あいさつ

NPO 法人えひめ子どもチャレンジ支援機構  
理事長 井門 照雄

NPO 法人えひめ子どもチャレンジ支援機構の活動も発足 10 年となりました。

主催事業として「みんなでチャレンジ みんなのチャレンジ」(みなチャレ) 中核事業として「御五神島・無人島体験事業」「地域教育実践交流集会」「学びのコミュニティ研究会」協働事業として「高校生ヤングボランティア活動」があげられます。

特に今年「地域教育実践交流集会」と「学びのコミュニティ研究会」の活動は、文部科学省の「地域教育力活性化コンファレンス」事業としても実施されることとなりました。

そのため 8 回目を迎えた「地域実践交流集会」は、全国からの参加を得ることとなり 300 名を超える参加者で実施されました。前回大学生の活動が目を引きましたが、今回は高校生の真面目な取り組みの発表が、会場全体を感動で包みました。我々の活動の将来に、希望を抱かせることが出来ました。また多くの参加者を得たということはこれからの交流集会を考える上では成果を得たと考えます。

「みなチャレ事業」も松山と八幡浜で今年も行われました。松山では今年度初めてテーマを「伝統に感じる」と設定しました。これは参加者の日程がとりにくくなってきたのと活動の発想を分かりやすくするためでした。3つの中学から 15 人と大学生 6 人が集まり活動しました。今年も東予での活動ができませんでした。拡がりのためには、皆様の協力なしではできません。宜しくお願い致します。

「無人島体験事業」は、実行委員会方式になって 8 年目をむかえました。今年は、防波堤の修理を行いました。無人島である事を忘れず、活動にどうしても支障のある部分に手を加えつつ活動を続けられたらと思っています。今年は天気にも恵まれ、綺麗な朝日や、夕日を拝むことが出来ました。42 名の参加者は、全員揃って閉会式を迎えることが出来ました。これも多くの人の協力と援助でできたことだと思います。有難うございました。



「高校生ヤングボランティア活動」の松山福音公園整備事業は、今年度も松山南高校砥部分校の皆さんにパネル制作をお願いしました。今年から「高校生ボランティア活動交流事業」がスタートし、国立大洲青少年交流の家で二泊三日の体験を実施しました。

私達の活動も歳を追うごとに多岐にわたり、多様になってきています。それだけこのような活動が求められているのも事実です。これからもニーズは、増えることはあっても減ることは、ないように思います。そこで振り返ってみると、設立からメンバーが、あまり変わっていない現実があります。新しい血をいれる努力を皆で進めなければならないと思っています。ぜひこの活動の輪を皆で広げてゆきましょう。

終わりに、私たちの活動を理解し支持して下さった皆さんにお礼を申し上げるとともに、これからもご支援をお願い申し上げます。